
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 117 号(2022. 10.18)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第117号をお届けします。今回の活動組織紹介では、①本交付金の活動で農地や農業用水路が地域資源であるという認識が住民に浸透し、農家・非農家が一体となって活動をしている組織、②活動組織を広域化したことで、花の観賞会等での交流や情報交換・相談の場が生まれ、各集落が意欲的に活動するようになった組織について紹介します。活動組織の代表者へのインタビューでは、荒れ地でも栽培が容易なコスモスに力を入れ、新聞やテレビに取り上げられたことでこども園や高齢者施設から問合せが来るなど、組織の高齢化の課題を抱えつつも県内最大級のコスモス畑を目指す事例について紹介します。また、活動組織の広報誌紹介では、長寿命化の工事について、理解してもらいやすいよう具体的な工事の内容、位置図や写真を掲載している事例や、子供からお年寄りまで多くの方の寄稿文を掲載し、幅広い年代に読まれることで、地域コミュニティの一体感を醸成している事例についてご紹介します。事務局からは「サステナアワード 2022」の募集と「令和 4 年度田園自然再生活動の集い」開催のご案内（(一社) 地域環境資源センター）についてお知らせいたします。

--第 117 号の目次-----

1. 活動組織の紹介

いどのうえまち
☆井土上町 みどりの会（群馬県 ぬまたし 沼田市）☆

かわたなちよう
☆川棚町 環境保全広域協定運営委員会（長崎県 ひがしそのぎぐんかわたなちよう 東彼杵郡 川棚町）☆

2. 活動組織の代表者へのインタビュー

つばくらまち
☆津波倉町 環境保全会（石川県 こまつし 小松市）☆

3. 活動組織の広報誌紹介 ～宇山 はってん 810会（長野県 きたさくぐんたてしなまち 北佐久郡 立科町）～

4. 「サステナアワード 2022」の募集が開始しました！応募締切 11 月 30 日（水）

5. 「令和 4 年度 田園自然再生活動の集い」開催のご案内（(一社) 地域環境資源センター）
(編集後記)

■1. 活動組織の活動紹介(1)～井土上町みどりの会(群馬県沼田市)～

～地区概要～

群馬県北部の山々に囲まれた豊かな自然環境に恵まれた中山間地域である沼田市の井土上地区で活動している。

活動範囲は、田 12ha、畑 7ha、農道 4.6km、水路 4.1km となっている。

～主な取組～

◎井土上地区の水路や農道などの施設は農家が共同作業で維持管理してきましたが、農家の高齢化や混住化が進み、適正な管理が難しくなっており、地域一体となった保安全管理が実施されている地区です。

◎水路施設等の保全活動を強化するとともに、子ども会を対象とした農業体験を実施することにより、農業や地域資源の保全への理解を深めています。

◎子ども会と協力し、遊休農地でのヒマワリの種まきといった景観形成活動を行うなど、農村環境の改善に取り組むとともに地域交流の重要な場となっています。

◎広報誌を発行して、地域住民へ活動の周知に努めているとともに、活動が地方紙に掲載されるなど、積極的なPRを行っています。

◎多面的の活動を通じて、農地や農業用水路が地域の資源であるという認識が住民に浸透し、農家と非農家が一体となった活動が展開されており、地域の活性化に繋がっています。

【井土上町みどりの会 代表 戸部 喜与蔵】



遊休農地でヒマワリの種まき



遊休農地を活用したヒマワリ畑



サツマイモ苗植え体験



サツマイモの収穫体験

■1. 活動組織の活動紹介～^{かわたなちょう}川棚町^{ひがしそのぎくんかわたなちょう}環境保全広域協定運営委員会(長崎県東彼杵郡川棚町)～■

～地区概要～

川棚町は長崎県のほぼ中央、大村湾の北側に位置し、山と海に囲まれた^{ふうこうめいび}風光明媚な地域である。高糖度トマトの「小串トマト」や、アスパラガス、長崎和牛、みかん、ナマコが特産品であり、令和3年から、小串トマトで町を盛り上げようという「いろはにとまとプロジェクト」が始まった。

当組織は川棚町で活動していた5組織が合併し、令和元年度から広域組織として活動している。

活動範囲は、田 102ha、畑 24ha、農道 32km、水路 25km、ため池 12箇所となっている。

～主な取組～

◎本組織では、元地域おこし協力隊員が事務局として組織に加わり、会計事務を担っています。これにより、出納簿の整理や支払事務等の負担による活動の継続に悩んでいた組織が、続けられるようになり、活動に専念することができました。

◎広域組織として複数の集落で一緒に予算を使うため、役員会を定期的開催し、意思疎通を図っています。このことにより、柔軟に予算割当てができるだけでなく、他集落との活動の情報交換・相談の場としても機能するようになり、以前よりも各集落が意欲的に活動するようになりました。

◎現在、共同活動として、各地区でコスモスの植栽や、子どもたちとの清掃活動等を行っていますが、今後は、広域化したことを活かし、花の鑑賞会を複数集落で行う等、交流の場となるよう、活動を工夫していきたいと思っております。



子どもたちとの清掃活動の様子



コスモス植栽活動の様子①



コスモス植栽活動の様子②

【川棚町環境保全広域協定運営委員会】

■2. 活動組織の代表者へのインタビュー～津波倉町環境保全会(石川県小松市)～■

～組織の概要～

津波倉町環境保全会では長年課題であった耕作放棄地の解消と景観向上のために、地域住民と一体となって保全活動に取り組んでおり、その代表的な取り組みとして、コスモス畑作りを行っている。本地区は県内最大級のコスモス畑を目指しており、広報活動にも力を入れている。

活動範囲は田 24ha、水路3.2km 農道5km となっており、主な構成員は農業者7人、非農業者2人、3団体である。

～インタビュー～

Q：組織を立ち上げようと思ったきっかけを教えてください。

A：長年耕作放棄地となっている現状を見て、粟津温泉の入り口でもあるこの地を打破するために組織を立ち上げ、国の多面的機能支払交付金制度に申請しました。

Q：景観向上としてコスモスを選んだ理由があれば教えてください。

A：この地には電気も水道もありません。荒れ地でも植栽ができ、手間がかからないもの、県内一を目指せるものと考えコスモスにしました。

Q：農業者だけでなく町内会や婦人会などの地域住民と連携して組織を運営しているとのことですが、構成員との関わり方で心がけていることはありますか。

A：コスモス畑にするに当たり、種まきを町内子供会に声をかけました。コロナ禍で開催できなかったこともありましたが、2022年には町内子供会、町内役員に加えて町内回覧板により、町民参加を促しました。また町内にある小松大谷高等学校にも協力してもらい、総勢43名で実施できました。



津波倉町環境保全会
会長 島田 宣郎



こども園の幼児がコスモス畑を訪れる

Q：参加した児童の様子・感想などを聞かせてください。

A：参加した方々は和気あいあいと種まきを楽しみ、秋に咲くコスモスを楽しみにしているようで、可愛い花が咲いたら見に来たいとのことでした。



小松大谷高等学校の高校生 10 名が参加

Q：新聞掲載やテレビ放送など、メディアを通じた広報活動にも力を入れているとのことですが、ご家族、知人からの感想・反響等あれば教えてください。

A：新聞に記事として掲載されましたら反響が大きく様々な方から応援メッセージを頂き、テレビで紹介されますと親戚や知人など多くの方からお声をいただきました。こども園や高齢者施設から見に行きたいとの問い合わせが来ました。また、遠方からも多くの方が来てくれました。

Q：現在特に力を入れて取り組んでいる活動内容はありますか？

A：耕作面積も 20,000 m²と拡大し、組織のメンバーだけでは厳しくなりました。今後はボランティア団体や町外からも募っていきたいと思います。

Q：活動を行ってよかったことを教えてください。

A：従来の農作業だけでなく、目的をもってメンバー間のコミュニケーションが図れたことや町民にも町として誇れるものができることです。津波倉町の認知度も上がりました。

Q：今後の展望や目標を教えてください。

A：コスモス畑を維持していくには、後継者育成が重要課題です。組織のメンバーの平均年齢も 75 歳と高齢化しており、作業が厳しい状態です。これまでは平日作業ができましたが、今後は土・日曜日の作業で農業者以外の人も参加していただき、コスモス畑を維持していきたいです。これまではコスモスの品種が 1 種類でしたが、キバナコスモスや世界中に植生するコスモスなどを増やしていきたいと思います。また、「コスモスまつり」を企画し、町の若手で構成されている公民館役員にも参加していただくことで、小松市の観光名所になればと思います。

【小松市経済環境部農林水産課：長崎 寛】

■3. 活動組織の広報誌紹介 ～宇山^{はってん}810会（長野県北佐久郡立科町）～■

広報誌の概要

- ◇ 年2回（7月、12月）に全戸へ紙媒体で「宇山^{はってん}810会」会報を配布している。
- ◇ 構成している5集落の代表5人とアドバイザーの6人からなる広報啓発委員会が中心となって多面的機能支払交付金の活動報告、地域の子供からお年寄りの寄稿文を掲載し、地域コミュニティの醸成に貢献している。
※当会の名称である「宇山810会」は、宇山地域の平均標高810mを「はってん（発展）」にちなんで、宇山地域の発展をめざすものとして名称

～工夫しているポイント～

- ポイント1：構成されている5集落の各集落の活動内容がわかるようにしている
- ポイント2：見やすいように文字や図を大きくし、写真を多く掲載しわかりやすくしている。
- ポイント3：子供からお年寄りまで幅広い年代からの寄稿文を掲載して、広報誌への関心を高めている。

事業報告、実際の作業の写真紹介、寄稿文、研修計画などもりだくさんな内容の全12ページからなる広報誌を作成している。



ポイント1 各集落の活動内容がわかるようにしている

これまで実施した長寿命化の工事について、具体的な工事の内容と位置図や写真を掲載し、交付金による長寿命化の成果と各集落で均等に実施していることをわかりやすく示しています。



資源向上「施設の長寿命化」工事の実施状況

※事務局（農務・経理） 山浦康弘

- ◇ 当会の活動の中で、自主施工では不可能な専門的技術や規模の工事を業者に委託して実施しているのが、『資源向上「施設の長寿命化」工事』です。水路や農道の維持にとても役立つ活動項目で、交付金の額も大きいです。
- ◇ 比較的大きな工事を実施し宇山の水路・農道等の維持管理に役立っていますので、農務、委員の皆さんに一目ご覧いただければと思います。
- ◇ 平成27～30年度が第3期の予算執行で、令和元～5年度が第4期となり、平成27年度から令和3年度まで7年間、各集落の要望に基づき様々な工事を計画・実施しています。

年度	部落	番号	工事場所・内容	金額(円)
平成27	立石	①	宇山1525-1田脇 水路のU字溝更新工事	389,000
	石川	②	宇山1772西 集水網更新・ゲート新設工事	259,000
	石川	③	宇山1720-2脇 水路U字溝更新・柵新設工事	153,000
	28 大深山	④	若宮丹支線水路改修工事	1,250,000
	29 日中	⑤	宇山790-1脇 農道コンクリート舗装工事	1,300,000
30 蟹座	⑥	五輪地区 農道舗装工事	1,850,000	
令和元	立石	⑦	宇山1649脇 水路U字溝更新工事	935,000
	石川	⑧	同上脇水路 旧八重原堀水路泥上工事	
2	大深山	⑨	宇山1222田脇 水路のU字溝更新工事	1,127,000
	立石・日中	⑩	宇山1315-1田脇 水路のU字溝・掛樋更新工事	
	日中・石川	⑪	宇山1503-8山林と農道の間 水路更新工事	
3	大深山	⑫	若宮丹支線につながる排水路 水路補修工事	1,364,000
	蟹座	⑬	宇山233田脇水路 更新工事	
	石川	⑭	宇山1688脇 旧八重原堀 泥上・掘水箇所調査工事	
計				9,023,000

H27～R3年度 施設の長寿命化 施工箇所現況

ポイント2 文字を大きくし、写真をふんだんに使用してわかりやすく

グラフを使用し、活動内容をわかりやすくしています。また、写真をふんだんに使用することにより視覚的にわかりやすくしています。

ポイント3 子供からお年寄りまで幅広い年代からの寄稿文を掲載

子供からお年寄りまで多くの方の寄稿文を載せることにより幅広い年代の方から読まれるとともに、地域コミュニティの一体感の醸成に貢献しています。

■4. 「サステナアワード 2022」の募集が開始しました！

～応募締切 11月30日(水)～■

農林水産省、消費者庁、環境省では、「サステナアワード 2022 伝えたい日本の“サステナブル”」と称し、食と農林水産業に関わるサステナブルな消費、環境との調和、脱炭素、生物多様性、資源循環など、サステナブルな生産やサービス・商品を扱う地域・生産者・事業者の取組に関する動画作品を募集します！

(募集期間：10月3日(月)～11月30日(水))

ご応募頂いた中から特に優れた動画作品には農林水産大臣賞をはじめとして、脱炭素賞、生物多様性保全賞、地域資源循環賞などを授与し、世界に発信いたします。

食と農林水産業のサステナビリティに関心のある活動組織のみなさんぜひご応募ください。動画による発信で活動組織以外の方に活動を知ってもらえる機会となったり、動画制作を通じて、みなさんの活動の魅力を再発見するきっかけとなったりするのではないのでしょうか。

応募〆切は令和4年11月30日

サステナアワード 2022

伝えたい日本の“サステナブル”

とめよう 温暖化

まもろう いきもの

みんなで 支え合おう

まもろう 水

へらそう ごみ

まもろう 土

食と農林水産業に関わる“サステナブル”な 取組 動画を募集します

主催 消費者庁 MAFF 農林水産省 環境省 共催 AgVenture Lab

みどりの食料システム戦略 持続可能な食料システムをつくり、豊かな地球環境を維持するために、あなたもサステナブルな取組を实践してみませんか。

▽サステナアワード 2022 伝えたい日本の“サステナブル”

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/sa2022.html>

■5. 「令和4年度 田園自然再生活動の集い」開催のご案内

（（一社）地域環境資源センター） ■

（一社）地域環境資源センターでは、田園自然再生活動を推進するため、「田園自然再生活動の集い」を開催しています。今年度は、【「棚田の魅力」再発見ー持続可能な田園自然再生活動のヒントを探してー】をテーマとして、豊かな田園地域の自然、伝統文化、そして地域社会が保全・再生され、より良いものとなるよう、田園自然再生活動の新たな可能性について考えます。

▽日程▽

令和4年12月7日（水） 13:00～16:30

▽開催場所▽

東京大学 弥生講堂一条ホール（Web 配信併用）

▽参加費▽

無料（参加登録が必要です）

▽申込み・問合せ先▽

〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

（一社）地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局（担当：藤田）

TEL：03-5425-2461

FAX：03-3432-0743

E-mail：denen-saisei@jarus.or.jp

◎イベント詳細（11月より参加登録開始）

<http://www.jarus.or.jp/>

【（一社）地域環境資源センター 田園自然再生活動事務局】

■ 編集後記 ■

読者の皆様こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。10月に入って秋を感じるようになり、南国育ちの私は、この時期に寒いとすることが新鮮です。

さて、私事ですが横須賀に遊びに行ってきました。戦艦「三笠」を見学し、実際に大砲を動かすことができたりするなど、少年心をくすぐられました！やはり、横須賀に来たからにはハンバーガーを食べなければと思い、台風が接近して天候が荒れているなか、頑張ってハンバーガー屋探しをしました。戦艦を見て、ハンバーガーを食べて、雨風を受けながらもとても充実した休日でした。



横須賀ハンバーガー

それでは次号もお楽しみに！

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→



◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf



◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：近藤、藤原）

TEL：03-3502-8111（内線5493）